

水道事業ガイドライン業務指標(PI)実績一覧表

資料7

業務指標(PI)						実績	
目標	分類	コード	指標名	計算式	単位	22年度	
安心(全ての国民が安心しておいしく飲める水道水)	水資源の保全	1001	水源利用率	1日平均配水量/確保している水源水量×100	%	88.7	
		1002	水源余裕率	[(確保している水源水量/一日最大配水量)-1]×100	%	0.53	
		1003	原水有効利用率	(年間有効水量/年間取水量)×100	%	94.6	
		1004	自己保有水源率	(自己保有水源水量/全水源水量)×100	%	85.6	
		1005	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	水源保全に投資した費用/その流域からの取水量	円/m ³	-	
	水源から給水栓までの水質管理	1101	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目		211
		1102	水質検査箇所密度	(水質検査採水箇所数/給水区域面積)×100	箇所/100km ²		50.7
		1103	連続自動水質監視度	(連続自動水質監視装置設置数/一日平均配水量)×1,000	台/(1,000m ³ /日)		0
		1104	水質基準不適合率	(水質基準不適合回数/全検査回数)×100	%		0
		1105	カビ臭から見たおいしい水達成率	[(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-メチルイソボルネオール最大濃度/水質基準値)]/2×100	%		100
		1106	塩素臭から見たおいしい水達成率	[1-(年間残留塩素最大濃度-残留塩素水質管理目標値)/残留塩素水質管理目標値]×100	%		0
		1107	総トリハロメタン濃度水質基準比	(総トリハロメタン最大濃度/総トリハロメタン濃度水質基準値)×100	%		50
		1108	有機物(TOC)濃度水質基準比	(有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	%		27
		1109	農薬濃度水質管理目標比	Σ(xi/Xi)/n×100	%		0
		1110	重金属濃度水質基準比	Σ(xi/Xi)/6×100	%		10
		1111	無機物質濃度水質基準比	Σ(xi/Xi)/6×100	%		9.76
		1112	有機物質濃度水質基準比	Σ(xi/Xi)/4×100	%		2
		1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比	Σ(xi/Xi)/9×100	%		0
		1114	消毒副生成物濃度水質基準比	Σ(xi/Xi)/5×100	%		20
		1115	直結給水率	(直結給水件数/給水件数)×100	%		98
1116	活性炭投入率	(年間活性炭投入日数/年間日数)×100	%		12.87		
1117	鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%		23.48		
安定(いつでもどこでも安定的に生活用水を確保)	連続した水道水の供給	2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量	[(配水池総容量-緊急貯水槽容量)×1/2+緊急貯水槽容量]/給水人口×1,000	L/人	153	
		2002	給水人口一人当たり配水量	(一日平均配水量/給水人口)×1,000	L/日/人	327.76	
		2003	浄水予備力確保率	[(全浄水施設能力-一日最大浄水量)/全浄水施設能力]×100	%	0	
		2004	配水地貯留能力	配水池総容量/一日平均配水量	日	0.93	
		2005	給水制限数	年間給水制限日数	日	0	
		2006	普及率	(給水人口/給水区域内人口)×100	%	99.9	
		2007	配水管延長密度	配水管延長/給水区域面積	km/km ²	16.7	
		2008	水道メータ密度	水道メータ数/配水管延長	個/km	114	

業務指標 (PI)						実績	
目標	分類	コード	指標名	計算式	単位	22年度	
安定 (いつでもどこでも安定的に生活用水を確保)	将来への備え	2101	経年化浄水施設率	(法定耐用年数を越えた浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	%	0	
		2102	経年化設備率	(経年化年数を越えている電気・機械設備数/電気・機械設備の総数)×100	%	35.9	
		2103	経年化管路率	(法定耐用年数を越えた管路延長/管路総延長)×100	%	16.0	
		2104	管路の更新率	(更新された管路延長/管路総延長)×100	%	0.15	
		2105	管路の更生率	(更生された管路延長/管路総延長)×100	%	0	
		2106	バルブの更新率	(更新されたバルブ数/バルブ設置数)×100	%	3.1	
		2107	管路の新設率	(新設管路延長/管路総延長)×100	%	0.56	
	リスクの管理	2201	水源の水質事故数	年間水源水質事故件数	件	0	
		2202	幹線管路の事故割合	(幹線管路の事故件数/幹線管路延長)×100	件/100km	0.77	
		2203	事故時配水量率	(事故時配水量/一日平均配水量)×100	%	16.18	
		2204	事故時給水人口率	(事故時給水人口/給水人口)×100	%	15.3	
		2205	給水拠点密度	(配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積)×100	箇所/100km ²	18.43	
		2206	系統間の原水融通率	(原水融通能力/受水側浄水能力)×100	%	0	
		2207	浄水施設耐震率	(耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	%	0	
		2208	ポンプ所耐震施設率	(耐震対策の施されているポンプ所能力/全ポンプ所能力)×100	%	78.7	
		2209	配水地耐震施設率	(耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量)×100	%	44.1	
		2210	管路の耐震化率	(耐震管延長/管路総延長)×100	%	15.1	
		2211	薬品備蓄日数	平均薬品貯蔵量/一日平均使用量	日	35	
	持続水をいつまでも安定して供給できる	強化	2212	燃料備蓄日数	平気燃料貯蔵量/一日使用料	日	0.16
			2213	給水車保有度	(給水車数/給水人口)×1,000	台/1,000人	0.0048
			2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度	(可搬ポリタンク・ポリパック数/給水人口)×1,000	個/1,000人	109.37
			2215	車載用の給水タンク保有度	(車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1,000	m ³ /1,000人	0.042
			2216	自家用発電設備容量率	(自家用発電設備容量/当該設備の電力総容量)×1,000	%	11.5
		地域特性にあった運営基盤の強化	2217	警報付施設率	(警報付施設数/全施設数)×100	%	100
			2218	給水装置の凍結発生率	(給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	0
			3001	営業収支比率	(営業収益/営業費用)×100	%	114.3
			3002	経常収支比率	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	%	111.1
			3003	総収支比率	(総収益/総費用)×100	%	111
3004	累積欠損金比率	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	%	0			
3005	繰入金比率(収益的収支分)	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100	%	1.9			

業務指標 (PI)					実績		
目標	分類	コード	指標名	計算式	単位	22年度	
持続 (いつまでも安心できる水を安定して供給)	地域特性にあった運営基盤の強化	3006	繰入金比率 (資本的収入分)	$(\text{資本勘定繰入金} / \text{資本的収入}) \times 100$	%	14.47	
		3007	職員一人当たり給水収益	$(\text{給水収益} / \text{損益勘定所属職員数}) / 100$	千円/人	54,227	
		3008	給水収益に対する職員給与費の割合	$(\text{職員給与} / \text{給水収益}) \times 100$	%	17.7	
		3009	給水収益に対する企業債利息の割合	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$	%	7.9	
		3010	給水収益に対する減価償却費の割合	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$	%	38.9	
		3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	$(\text{企業債償還金} / \text{給水収益}) \times 100$	%	19.0	
		3012	給水収益に対する企業債残高の割合	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$	%	328.2	
		3013	料金回収率 (給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合)	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$	%	105.7	
		3014	供給単価	給水収益 / 有収水量	円/m ³	148.8	
		3015	給水原価	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費})] / \text{有収水量}$	円/m ³	140.7	
		3016	1箇月当たり家庭用料金 (10m ³)	1箇月当たりの一般家庭用 (口径13mm) の基本料金 + 10m ³ 使用時の従量料金	円	993	
		3017	1箇月当たり家庭用料金 (20m ³)	1箇月当たりの一般家庭用 (口径13mm) の基本料金 + 20m ³ 使用時の従量料金	円	2284	
		3018	有収率	$(\text{有収水量} / \text{給水量}) \times 100$	%	93.4	
		3019	施設利用率	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$	%	65.1	
		3020	施設最大稼働率	$(\text{一日最大給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$	%	73.2	
		3021	負荷率	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日最大給水量}) \times 100$	%	89	
		3022	流動比率	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$	%	455.6	
		3023	自己資本構成比率	$[(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計}] \times 100$	%	61.9	
		3024	固定比率	$[\text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金})] \times 100$	%	144.9	
		3025	企業債償還元金対減価償却費比率	$(\text{企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費})$	%	48.7	
		3026	固定資産回転率	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$	回	0.11	
		3027	固定資産使用効率	$(\text{給水量} / \text{有形固定資産}) \times 10,000$	m ³ /10,000円	8.2	
		水道文化・技術の継承と発展	3101	職員資格取得度	職員が取得している法定資格数 / 全職員数	件/人	2.64
			3102	民間資格取得度	職員が取得している民間資格取得数 / 全職員数	件/人	0
			3103	外部研修時間	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	時間	3.45
			3104	内部研修時間	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	時間	1.29
			3105	技術職員率	$(\text{技術職員総数} / \text{全職員数}) \times 100$	%	77.86
3106	水道業務経験年数度		全職員の水道業務経験年数 / 全職員数	年/人	15.4		
3107	技術開発職員率		$(\text{技術開発業務従事職員数} / \text{全職員数}) \times 100$	%	0		
3108	技術開発費率		$(\text{技術開発費} / \text{給水収益}) \times 100$	%	0		

業務指標(PI)						実績
目標	分類	コード	指標名	計算式	単位	22年度
持続(いつまでも安心して できる水を安定して供給)	水道文化・技術の 継承と発展	3109	職員一人当たり配水量	年間配水量 / 全職員数	m ³ /人	402,856.8
		3110	職員一人当たりメータ数	水道メータ数 / 全職員数	個/人	1016
		3111	公傷率	[(公傷で休務した延べ人・日数) / (全職員数 × 年間公務日数)] × 100	%	0.017
		3112	直接飲用率	(直接飲用回答数 / 直接飲用アンケート回答数) × 100	%	-
	消費者ニーズをふまえた 給水サービスの充実	3201	水道事業に係る情報の提供度	広報誌配布部数 / 給水件数	部/件	15.56
		3202	モニタ割合	(モニタ人数 / 給水人口) × 1,000	人/1,000人	0
		3203	アンケート情報収集割合	(アンケート回答人数 / 給水人口) × 1,000	人/1,000人	5.72
		3204	水道施設見学者割合	(見学者数 / 給水人口) × 1,000	人/1,000人	1.89
		3205	水道サービスに対する苦情割合	(水道サービス苦情件数 / 給水件数) × 1,000	件/1,000件	0
		3206	水質に対する苦情割合	(水質苦情件数 / 給水件数) × 1,000	件/1,000件	0.45
		3207	水道料金に対する苦情割合	(水道料金苦情件数 / 給水件数) × 1,000	件/1,000件	0
		3208	監査請求数	年間監査請求件数	件	0
		3209	情報開示請求数	年間情報開示請求件数	件	0
		3210	職員一人当たり受付件数	受付件数 / 全職員数	件/人	28.7
環境(環境保全への貢献)	地球温暖化防止、 環境保全などの推進	4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量	全施設の電力使用量 / 年間配水量	kWh/m ³	0.61
		4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	全施設での総エネルギー消費量 / 年間配水量	MJ/m ³	2.27
		4003	再生可能エネルギー利用率	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	%	0.64
		4004	浄水発生土の有効利用率	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100	%	0
		4005	建設副産物のリサイクル率	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物排出量) × 100	%	99.45
		4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量	[総二酸化炭素(CO ₂)排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	g・CO ₂ /m ³	184.14
	水健全な 環境	4101	地下水率	(地下水揚水量/水源使用水量) × 100	%	0
管理(水道システムの適正な 実行・業務運営及び維持)	適正な実行・業務運営	5001	給水圧不適正率	[適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 / (圧力測定箇所総数 × 年間日数)] × 100	%	0
		5002	配水池清掃実施率	[最近5年間に清掃した配水池容量 / 配水池総容量 / 5] × 100	%	288.48
		5003	年間ポンプ平均稼働率	[ポンプ運転時間の合計 / (ポンプ総台数 × 年間日数 × 24)] × 100	%	33.3
		5004	検針誤り割合	(誤検針件数 / 検針総件数) × 1,000	件/1,000件	0.03
		5005	料金請求誤り割合	(誤料金請求件数 / 料金請求総件数) × 1,000	件/1,000件	0
		5006	料金未納率	(年度末未納料金総額 / 総料金収入額) × 100	%	8.6
		5007	給水停止割合	(給水停止件数 / 給水件数) × 1,000	件/1,000件	11
		5008	検針委託率	(委託した水道メータ数 / 水道メータ数) × 100	%	99.48
		5009	浄水場第三者委託率	(第三者委託した浄水場能力/全浄水場能力) × 100	%	0

業務指標(PI)					実績	
目標	分類	コード	指標名	計算式	単位	22年度
管理 (水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理)	適正な維持管理	5101	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場総数	10年間の件数/箇所	0
		5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	[(ダクタイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路総延長] × 100	%	63.45
		5103	管路の事故割合	(管路の事故件数 / 管路総延長) × 100	件/100km	6.4
		5104	鉄製管路の事故割合	(鉄製管路の事故件数 / 鉄製管路総延長) × 100	件/100km	4.5
		5105	非鉄製管路の事故割合	(非鉄製管路の事故件数 / 非鉄製管路総延長) × 100	件/100km	12.27
		5106	給水管の事故割合	(給水管の事故件数 / 給水件数) × 1,000	件/1,000件	5.87
		5107	漏水率	(年間漏水量 / 年間配水量) × 100	%	4.26
		5108	給水件数当たり漏水量	年間漏水量 / 給水件数	m ³ /年/件	13.8
		5109	断水・濁水時間	(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 給水人口	時間	-
		5110	設備点検実施率	(電気・計装・機械設備等の点検回数 / 電気・計装・機械設備等の法定点検回数) × 100	%	586.6
		5111	管路点検率	(点検した管路延長 / 管路総延長) × 100	%	6.67
		5112	バルブ設置密度	バルブ設置数 / 管路総延長	基/km	19.5
		5113	消火栓点検率	(点検した消火栓数 / 消火栓数) × 100	%	7.5
		5114	消火栓設置密度	消火栓数 / 配水管延長	基/km	5.9
		5115	貯水槽水道指導率	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道総数) × 100	%	0
国際 移転の と の 交 流	技術 の 関 、 機 関 、 諸 国	6001	国際技術等協力度	人的技術等協力者数 × 滞在週数	人・週	0
		6101	国際交流数	年間人的交流件数	件	0

